

2024 年度 一般入学試験 前期日程 (1 月 30 日)

# 地理歴史・公民・理科

〔世界史 B, 日本史 B, 政治・経済〕  
〔物理基礎・化学基礎・生物基礎〕

(試験時間 60 分)

この問題冊子には、「世界史 B」「日本史 B」「政治・経済」の 3 科目及び「理科 (物理基礎・化学基礎・生物基礎)」を掲載しています。解答する科目を間違えないように選択しなさい。

## 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
- 3 この問題冊子は、127 ページあります。出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目		ペ ー ジ	選 択 方 法
地理 歴史 ・ 公民	世界史 B	4 ~ 27	左の 3 科目のうち 1 科目を選択して解答する。
	日本史 B	28 ~ 55	
	政治・経済	56 ~ 83	
理科	物理基礎・化学基礎・ 生物基礎	85 ~ 127	試験時間内に左の 3 科目のうち 2 科目を選択して解答する。

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 「地理歴史・公民」の科目を選択する者は「地理歴史・公民解答用紙」を、「理科」の科目を選択する者は「理科解答用紙」を使用しなさい。

「理科」は解答用紙 1 枚で 2 科目を解答します。解答の順番は問いません。解答時間 (60 分) の配分は自由です。

裏表紙へ続く、裏表紙も必ず読むこと。

6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目名の右の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10
----

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

9 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 日本史 B

(解答番号  ~ )

**第 1 問** 次の文章 A・B を読み、下の問い(問 1～9) に答えよ。

A 日本では長きにわたり、日本列島に旧石器時代の遺跡は存在しないと考えられてきた。しかし、岩宿遺跡から  が発見されたことを端緒に、現在では、日本列島における <sup>a</sup> 旧石器時代の生活の様子 が明らかになってきている。

今から約 1 万年余り前、気候の温暖化によって氷河が溶け、海面の上昇にもなって現在の日本列島が形成された。こうした自然環境の変化に対応して、人々の生活が大きく変化し、<sup>b</sup> 縄文文化が成立 した。この時代には、大型動物が絶滅して中小動物が増えたため、人々は、中小動物を捕獲するために、石槍とともに弓矢を使用した。また、食料を煮炊きするための土器を発明したほか、木の実などをすりつぶすための  などを使用し始めた。また、縄文時代の生活は自然条件に左右されることが多かったため、人々は自然の豊かな恵みなどを祈るための <sup>c</sup> 呪術 を発達させた。

問 1 空欄   に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 打製石器      イ 石 匙
- ② ア 打製石器      イ 石 皿
- ③ ア 化石人骨      イ 石 匙
- ④ ア 化石人骨      イ 石 皿

問 2 下線部㉔に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 植物性食料の重要性が高まり、クリやドングリなどの木の実が採集された。
- ② 定住的な生活が始まり、掘立柱を立てて屋根を葺いた竪穴住居が営まれた。
- ③ 共同墓地と考えられる環状列石が設けられ、祖先祭祀の意識が生まれた。
- ④ 旧石器時代の終わり頃には、細石器と呼ばれる小型の石器が用いられた。

問 3 下線部㉕に関連して、縄文時代に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 3

- a 縄文時代は、西アジアや中国とは異なり、農耕・牧畜の食料生産段階に移行したとは言えないが、世界史上の区分としては新石器時代にあたる。
- b 縄文時代は、西日本の各地に防御的な施設を備えた集落が出現し、高地性集落や環濠集落などが形成された。
- c 縄文時代は、縄文土器の変化によって、草創期・早期・前期・中期・後期・晩期の 6 期に区分された。
- d 縄文時代は、人々の中の身分差が明らかとなり、個人の墓に中国鏡や青銅製の武器などが納められることもあった。

- ① a・c            ② a・d            ③ b・c            ④ b・d

問 4 下線部㉖に関連して、縄文時代の信仰・風習に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 成人式などの儀礼として、健康な歯を抜く抜歯が行われた。
- ② 死者の霊が災いを及ぼさないように、屈葬が行われた。
- ③ 災いを免れるために、鹿の骨などを用いた禊みそぎや祓はらえが行われた。
- ④ 豊かな収穫を祈るために、女性をかたどった土偶の製作が行われた。

## 日本史 B

B 平安時代には、天皇が幼少で即位する際、政治に精通していない幼帝にかわって、外祖父である人物が政務を執る状況がみられるようになった。摂関政治とは、母系重視の社会を背景に、このような外戚関係を利用し、㉔摂政や関白として政治上の実権を握ったことをいう。

天皇と外戚関係を築いて勢力を伸ばしたのは藤原氏であり、なかでも㉔藤原北家が、他氏排斥をくり返しながら権力を掌握し、摂関政治の基礎を築いた。そして、摂関政治の全盛期をつくったのは㉕藤原道長である。彼は、4人の娘を相次いで天皇や皇太子に嫁がせるなどして、権勢をふるった。

また、摂関政治が行われた時期には㉖国司の地位が利権視されたため、㉗売位・売官の風潮が強まり、人事権を握る摂関家に経済的な潤いをもたらした。

問5 下線部㉔に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 

5
---

X 摂政は、成人後の天皇の後見人として政務を補佐した。

Y 関白は、天皇が幼少または病気のとくに天皇にかわって政務を処理した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問6 下線部㉔に関連して、藤原北家による他氏排斥に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

- Ⅰ 醍醐天皇の子で左大臣であった源高明を、陰謀によって左遷させた。
- Ⅱ 前代の天皇より重用されていた学者の菅原道真を、大宰権帥に左遷させた。
- Ⅲ 恒貞親王を擁して謀叛を企てたとして、伴健岑・橘逸勢らを退けた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ      ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ      ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問7 下線部㉕に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 藤原道長は、関白として長く政治の実権を握り、日記『御堂関白記』に藤原氏の全盛期の様子を記した。
- ② 藤原道長は、後一条・後朱雀・後冷泉の3代の天皇の外祖父になり、朝廷で権勢をふるった。
- ③ 藤原道長は、甥の藤原兼家と氏の長者の地位をめぐる争い、これに勝利して摂関家内部の争いを収めた。
- ④ 藤原道長は、末法思想によって流行した浄土教に傾倒し、阿弥陀堂建築として知られる平等院鳳凰堂を建立した。

日本史 B

問 8 下線部㉔に関連して、10世紀頃の国司に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

8

X 律令体制の崩壊が顕著になると、政府は国司に一定額の税の納入を請け負わせ、一国内の統治を委ねる方針に転換した。

Y 任国に赴く国司の最上席者は受領と呼ばれ、藤原元命などのように暴政を訴えられる者もいた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 9 下線部㉕に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

9

X 国司のなかには、任国に赴任せず、かわりに目代を派遣して国司としての収入だけを得る者もいた。

Y 朝廷儀式や寺社造営の費用を負担し、その代償として国司に任じてもらうということが盛んに行われるようになった。

a 遙任

b 重任

c 成功

d 負名

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

(下書き用紙)

日本史Bの試験問題は次に続く。

**第2問** 次の文章A・Bは、高校の日本史の先生とその生徒との授業後の会話である。この文章を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A

生徒：以前の授業で、蒙古襲来について学びましたが、その際に参考として資料集でみましました<sup>Ⓐ</sup>肥後の御家人がつくらせた絵巻からは、当時の戦いの激しさを知ることができました。日本以外の国でも、モンゴル民族の侵攻に対する抵抗はあったのですか。

先生：はい、抵抗は日本以外でもアジア各地で見られました。とりわけ **ア** では激しい抵抗運動が展開され、三別抄による反乱は、元の日本遠征の時期を遅らせたと言われています。

生徒：その反乱がなければ、文永の役は1274年より前に起こっていたということですね。日本に対して、<sup>Ⓑ</sup>フビライは2度にわたり軍隊を派遣してきていますが、3度目の侵攻は予定されなかったのですか。

先生：元はその後にも日本征服を計画していたと言われています。そのため、鎌倉幕府も警戒態勢を緩めず、九州の博多には **イ** を設置して北条氏一門の者を送り、西国一帯に対する支配を強めました。

生徒：でも3度目は起きなかったのですね。蒙古襲来はほかに、鎌倉幕府にどのような影響を与えたのでしょうか。

先生：<sup>Ⓒ</sup>蒙古襲来の後、鎌倉幕府の政治体制は変化しました。そして、幕府支配の根幹であった<sup>Ⓓ</sup>御家人制が動揺していき、それが幕府崩壊へとつながったと言われています。

生徒：侵攻は防ぐことができたけれど、影響は大きかったということですね。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

- ① ア 南宋 イ 鎮西奉行
- ② ア 南宋 イ 鎮西探題
- ③ ア 高麗 イ 鎮西奉行
- ④ ア 高麗 イ 鎮西探題

問2 下線部①に関連して、次の図は当時つくられた絵巻の一部である。この図に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **11**

図



X この絵巻は、竹崎季長が蒙古襲来に奮戦した自らの様子を描かせたもので、『蒙古襲来絵巻(絵詞)』と呼ばれる。

Y この絵巻から、日本側が主として騎馬武者による一騎打ちの戦法を用いたのに対して、元軍は火薬を利用した武器を使用していたことがわかる。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

## 日本史 B

問 3 下線部⑥に関連して、蒙古襲来前後の出来事に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 執権の北条時頼は、日本に対する元の朝貢要求を拒否した。
- ② フビライ=ハンは、中国を支配するために都を大都に移した。
- ③ 幕府は、再襲来に備えて弘安の役後に石塁(石築地)の構築を命じた。
- ④ 蒙古襲来以後、日本と中国との交易は鎌倉幕府滅亡まで途絶えた。

問 4 下線部③に関連して、蒙古襲来後の鎌倉幕府の政治に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 全国の守護の半分以上を北条氏一門が占めるようになった。
- ② 北条氏が天皇と外戚関係を築き、高位高官を独占して貴族的性格を強めた。
- ③ 北条氏宗家の家督を継承した得宗の勢力が強大化した。
- ④ 得宗の家臣である御内人が台頭し、有力御家人との対立が激しくなった。

問5 下線部㊸に関連して、鎌倉時代後期に御家人制が動揺した背景と結果に関して述べた次の文 **a**～**d** について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 14

- a** 蒙古襲来における幕府からの恩賞が不十分であったうえ、貨幣経済の発展に巻き込まれ、多くの御家人が窮乏していった。
- b** 幕府が、御家人が失った所領を取り戻せるように永仁の徳政令を出したが、所領を有償で買い戻させる内容であったため、効果は少なかった。
- c** 御家人の所領の相続方法が、分割相続から単独相続に移行し、嫡子が家督と全所領を相続するようになっていった。
- d** 鎌倉幕府の政治・軍事体制の基盤であった惣領制が崩壊し、武士は地縁的な結合ではなく、一門の血縁による結合を強めるようになった。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

## 日本史 B

### B

生徒：教科書を予習していたら、14世紀の前半頃には農村のあり方が変化して、自治的な村落共同体として⑥惣村が創出された、とありました。惣村とは具体的にどのようなものだったのですか。

先生：惣村は、地侍と呼ばれた、武士的な性格を有した有力名主層を指導者として運営されていたと言われていています。そこでは、共有財産や入会地、用水の管理など、村の自治に関する多くの事柄が取り決められました。

生徒：なるほど、リーダーを決め、村民たちが共同でルールを決めて、豊かな生活をおくる努力をしていた、ということですね。

先生：そういうことですね。彼らは強い連帯意識で結ばれていて、そうした惣村の結合は、畿内を中心に発生することになる⑦一揆の基盤にもなりました。

生徒：一揆という言葉は、室町時代にはたくさん出てくるように思います。

先生：はい。⑧南北朝の合体の後になると、土一揆が頻発しました。室町時代の後半には守護大名の力が衰えて、武士や地域住民が連合した国一揆の結成もみられるようになります。また、1488年に発生した加賀の一向一揆のように、一向宗門徒らが守護大名を倒し、一揆勢が1世紀にわたって加賀一国を支配するということも起こりました。

生徒：それまでの権力に対して、新たな動きがみられるようになったということですね。

先生：そうです。ほかにも室町時代には、豊かになった農民たちの需要に支えられて、地方の⑨産業が発達し、貨幣経済が進展していきました。

生徒：多くの変化があった時代なのですね。これから学習するのが楽しみです。

問6 下線部㉔に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15

X 惣村は、寄合と呼ばれる村民の会議の決定に従い、預所・下司などの指導者によって運営された。

Y 惣村では、農業生産力の向上にともなって、農民が年貢を個別に領主に納めるようになった。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問7 下線部㉕に関連して、室町時代に発生した一揆に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 16

I この一揆は、「代始めの徳政」を求めて京都を占拠し、室町幕府も一揆の要求を受け入れて、初めての徳政令を発布した。

II この一揆は、近江坂本の馬借の蜂起によって始まり、京都の土倉・酒屋などを襲撃して質物や貸借証文を奪った。

III この一揆は、畠山氏の軍勢を国外に退去させ、8年間にわたる自治的支配を実現した。

① I — II — III

② I — III — II

③ II — I — III

④ II — III — I

⑤ III — I — II

⑥ III — II — I

- 問8 下線部⑧に関連して、次の史料は南北朝の合体に関して書かれた文書の一部である。史料から読み取れることやそれに関係する出来事について述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 17

史料

御合体の事、(中略)入眼<sup>じゆがん</sup>の条<sup>ちんちよう</sup>珍重<sup>きざあ</sup>に候<sup>(注1)</sup>。三種神器<sup>きざあ</sup>歸座<sup>あ</sup>有るべきの上は、御讓国<sup>(注2)</sup>の儀式<sup>な</sup>を為すべきの旨<sup>そ</sup>、其<sup>こころ</sup>の意<sup>え</sup>を得候<sup>(注3)</sup>。自今以後、兩朝の御流相代<sup>あいか</sup>はりて御讓位<sup>じじよう</sup>治定<sup>(注4)</sup>せしめ候<sup>おわ</sup>ひ畢<sup>なかんずく</sup>んぬ。就中、諸国の国衙<sup>ことごと</sup>は悉く皆御計<sup>はからい</sup>たるべく候<sup>(注5)</sup>。長講堂<sup>ちようこうどう</sup>に於いては、諸国分<sup>お</sup>は一円持明院殿<sup>じみょういん</sup>の御進止<sup>お</sup>たるべく候。

(『吉田文書』)

- (注1) 入眼の条珍重に候：成就したことはめでたい。  
(注2) 御讓国：讓位。  
(注3) 其の意を得候：了解しました。  
(注4) 治定：決めること。  
(注5) 悉く皆御計たるべく候：すべて大覚寺統の管轄とする。

- ① 史料からは、三種の神器が京都に戻ったうえで、持明院統から大覚寺統の天皇への讓位の儀式を行うことが読み取れる。  
② 史料からは、持明院統と大覚寺統が交互に皇位を継承することが読み取れるが、実際には片方の系統が皇位を譲らなかった。  
③ 史料からは、諸国の国衙領は北朝系統の管轄とすることが読み取れ、その際、守護が領有していた所領はすべて没収された。  
④ 史料からは、後白河法皇の持仏堂に寄進された莊園群である長講堂領は、南朝系統が領有することが読み取れる。

問9 下線部⑥に関連して、室町時代の産業に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 

18
----

- a 鎌倉時代の借上にかわって、問屋と呼ばれる高利貸業者が登場した。
- b 畿内では、鎌倉時代からの二毛作に加え、三毛作も行われた。
- c 鎌倉時代の三斎市から、応仁の乱後は月6回開く六斎市が一般化した。
- d 鎌倉時代からの宋銭に加え、幕府が鑄造した貨幣が流通した。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

**第3問** 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 徳川家康は、1603年に征夷大將軍となり江戸幕府を開いたが、將軍職は **ア** を示すために、翌々年には子の秀忠にその職を譲った。その後は、駿府において大御所として幕政を指導し、1614年から1615年の大坂の役では、徳川氏に従わない豊臣秀頼を滅ぼした。

政権の安定をはかる江戸幕府は、<sup>Ⓐ</sup> 3代將軍である徳川家光の頃までに政治組織を整備し、軍事面でも、將軍直属の家臣である旗本・御家人を抱えるほか、諸大名に対しても軍役を課すなど、盤石な体制を確立した。そのうえで、<sup>Ⓑ</sup> 武家諸法度を制定して大名に対する統制を強め、法令に違反した大名に対しては厳しい処分を下した。

<sup>Ⓒ</sup> 朝廷については、伝統的な権威として尊重し、天皇や公家に対して一定の所領を保障したが、一方で、**イ** を設置して監視を行ったほか、公家のなかから武家伝奏を選んで朝幕間の連絡にあたらせるなど、その生活や行動を厳しく規制した。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **19**

- ① **ア** 実力ある者が担うこと      **イ** 京都所司代
- ② **ア** 実力ある者が担うこと      **イ** 京都守護職
- ③ **ア** 徳川家が世襲すること      **イ** 京都所司代
- ④ **ア** 徳川家が世襲すること      **イ** 京都守護職

問2 下線部㉓に関連して、江戸幕府の職制に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 20

X 将軍を補佐する最高職で、10万石以上の譜代大名から任じられ、幕政を統括したが、常置の役職ではなかった。

Y 老中を補佐する職で、譜代大名から選任され、旗本・御家人の指揮・監督や江戸城中の事務を担った。

a 側用人                      b 大老                      c 大目付                      d 若年寄

① X — a      Y — c                      ② X — a      Y — d

③ X — b      Y — c                      ④ X — b      Y — d

問3 下線部㉔に関連して、江戸幕府の大名統制に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

21

X 大名の居城を一つに限る一国一城令を出し、武家諸法度によって、幕府の許可なく城郭の補修を行うことを禁じた。

Y 将軍と主従関係を結んだ1万石以上の武士を大名と呼び、将軍との親疎の関係で親藩・譜代・外様に区分された。

① X 正      Y 正                      ② X 正      Y 誤

③ X 誤      Y 正                      ④ X 誤      Y 誤

日本史 B

問 4 下線部㉔に関連して、江戸幕府と朝廷との関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 22

- Ⅰ 後水尾天皇が、紫衣着用の勅許に関する幕府の対応に怒り、譲位した。
- Ⅱ 天皇家との結びつきを強めるために、幕府は新たに閑院宮家を創設した。
- Ⅲ 幕府は、禁中並公家諸法度を制定し、朝廷を統制する基準を示した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ      ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ      ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

B 18世紀になると、㉔貨幣経済の浸透による幕藩体制の動揺がみられるようになった。江戸幕府は年貢徴収を確実にするために本百姓の維持につとめたが、農村では貧富の差が広がり、豪農（地主）と小百姓（小作人や日用稼ぎ）といった農民の階層分化が進んだ。村役人を兼ねる豪商と小百姓らはたびたび対立し、小百姓らが村役人の不正を追及し、村の民主的で公正な運営を求める **ウ** も発生した。また、年貢の重い負担や度重なる飢饉による生活の困窮から、各地で㉕百姓一揆が頻発し、農村を捨てて都市に流入する者が増えた。その結果、無宿人などによる犯罪が多発し、都市部の治安悪化が深刻化した。

そうしたなか、老中に就任した松平定信は、飢饉に陥った農村を復興させ、幕府の財政基盤を建て直すことを目的に、㉖寛政の改革に着手し、都市で正業を持たない者に資金を与えて農村に帰ることを奨励した **エ** を発するなどの政策を行った。また、㉗学問や風俗の取り締まりにもつとめたが、定信の政策は民衆を厳しく統制しようとするものであったことから反発をまねき、将軍との対立もあり、定信は老中在職6年余りで退陣に追い込まれた。

問5 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **23**

- ① ウ 村方騒動      エ 旧里帰農令
- ② ウ 村方騒動      エ 人返しの法
- ③ ウ 国 訴          エ 旧里帰農令
- ④ ウ 国 訴          エ 人返しの法

問 6 下線部④に関連して、次の史料は、江戸時代後半の武士の様子を描いた文書の一部である。この史料に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

史料

なべて武家は大家も小家も困窮し、別けて小禄(注1)なるは身体甚だ見苦しく、或は父祖より持ち伝へたる武具、及び先祖の懸命の地(注2)に入りし時の武器、そのほか家に取りて大切な品をも心なく売り払ひ、また拝領の品をも厭はず質物に入れ、或は売物にもし(中略)またその甚しきに至りては、御番に出づる時は質屋より偽りて取り寄せ着用(注3)いたし、帰りたる時は、直ちに元の質屋へ返すなり。(中略)いかにも当世は、武辺(注4)と律儀は世の禁物なり。

『世事見聞録』

- (注1) 小禄：禄高の少ない武士。  
 (注2) 懸命の地：戦場。  
 (注3) 着用：着用。  
 (注4) 武辺：武道一筋。

X 著者は質屋を利用している武士に否定的であり、武士はどのような立場でも武道を重んじ、誇りを持つべきであると論している。

Y 武士の困窮した様子が読み取れるが、それは、富が一握りの武士に偏り、禄高の少ない名ばかりの武士が増えたためだとしている。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

問7 下線部㉔に関連して、江戸時代の百姓一揆に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 浅間山の噴火をともなった享保の飢饉の際には、将軍の徳川吉宗が年貢率を引き下げて百姓一揆の増加を防いだ。
- ② 19世紀前半に百姓一揆が多発したが、この時期から一揆の形態が代表越訴型一揆から惣百姓一揆へと変化した。
- ③ 元役人で陽明学者の大塩平八郎が大坂で武装蜂起を起こした大塩の乱に影響を受け、各地で百姓一揆が発生した。
- ④ 幕末期に全国で多発した一揆は、「ええじゃないか」の乱舞をともない、天理教を中心とした宗教一揆の形態をとった。

問8 下線部㉕に関連して、寛政の改革で実施された政策に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 相对済し令を出し、金銭貸借の争いを受理せずに当事者間で解決させた。
- ② 株仲間を積極的に公認し、運上・冥加などの営業税の増収を目指した。
- ③ 関東取締出役を設置し、関東の農村での犯罪者の取り締まりを強化した。
- ④ 棄捐令を出し、札差に貸金の放棄を命じて旗本らの生活を救済した。

問9 下線部㉖に関連して、寛政の改革における学問や風俗の統制に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 寛政異学の禁を出し、湯島聖堂の学問所で朱子学を講じることを禁じた。
- ② 『海国兵談』で海岸防備を説いた林子平を、幕府を批判したとして処罰した。
- ③ 『自然真営道』を著した安藤昌益を、封建社会を批判したとして処罰した。
- ④ 人情本の作家であった山東京伝を、風俗を乱したとして処罰した。

**第4問** 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 19世紀末、征韓派参議の辞職後、らが明治政府の中心となり、中央集権的な国内体制の整備を推進し、近代化を目指した。<sup>Ⓐ</sup>中国や朝鮮に対しても、西洋の国際法に基づく論理で外交関係を構築しようとした。

明治政府は、朝鮮を利益線とみなして重視し、朝鮮と宗主国である清国との関係を断たせることを基本とした外交政策を展開した。さらに、朝鮮国内におけるクーデタに清国が介入して、日本の朝鮮に対する影響力が低下すると、朝鮮をめぐる日本と清国の対立は避けられない情勢となっていた。しかし、甲申事変後の1885年、が日清間で結ばれたことにより、両国の衝突はひとまず回避された。

1894年になると、朝鮮で発生した甲午農民戦争を契機に<sup>Ⓑ</sup>日清戦争が勃発した。この戦争に日本が勝利したこととその後の三国干渉によって、<sup>Ⓒ</sup>日本国内ではナショナリズムが高揚することとなった。一方で、日清戦争によって清国の弱体ぶりが明らかになると、<sup>Ⓓ</sup>欧米列強が相次いで中国に進出し、ロシアが旅順・大連、ドイツが膠州湾を租借するなどして、各国は租借地を拠点に鉄道の建設などを進めた。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 板垣退助      イ 天津条約
- ② ア 板垣退助      イ 南京条約
- ③ ア 大久保利通    イ 天津条約
- ④ ア 大久保利通    イ 南京条約

問2 下線部㉔に関連して、明治時代の日本と中国・朝鮮との関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

- Ⅰ 日本は清国と日清修好条規を結び、相互に領事裁判権を認め合うなど、対等な関係を築いた。
- Ⅱ 江華島事件を契機に、日本は朝鮮と日朝修好条規を結び、朝鮮を開国させた。
- Ⅲ 朝鮮国内で、日本に接近した閔妃政権に対して、大院君を支持する軍隊がクーデターを起こした。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ      ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ  
 ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ      ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問3 下線部㉕に関連して、日清戦争後に結ばれた講和条約の内容に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 清国は、朝鮮が独立国であることを認めた。
- ② 清国は、新たに重慶などの四つの港を開くことを受け入れた。
- ③ 清国は、日本に賠償金2億両を支払うことを約束した。
- ④ 清国は、山東半島・台湾・澎湖諸島を日本に譲ることを決めた。

## 日本史 B

問 4 下線部㉔に関連して、日清戦争後に対外膨張論を唱えた思想家に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する人物名 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 31

X この人物は、民友社を設立して平民的欧化主義を唱えたが、日清戦争を契機に国家主義に転じた。

Y この人物は、雑誌『太陽』の主幹として日本主義を唱え、国民精神の発揚を強調した。

a 徳富蘇峰      b 三宅雪嶺      c 陸羯南      d 高山樗牛

① X — a      Y — c      ② X — a      Y — d

③ X — b      Y — c      ④ X — b      Y — d

問 5 下線部㉕に関連して、列強の中国進出に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

a アメリカの国務長官であったジョン=ヘイは、中国の門戸開放や機会均等を列強に提案した。

b 北清事変で中国が列強に降伏すると、この直後に中国では清朝打倒を目指す辛亥革命が起きた。

c ロシアの支援で日本に対抗しようとした中国は、ロシアとの間に北京議定書を結んでロシア軍隊の駐留などを認めた。

d ロシアが中国東北部の満州を事実上占領すると、日本はイギリスと同盟を結んで韓国での権益を守ろうとした。

① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

B 1930年代以降、満州事変を契機に日本国内で起こったナショナリズムの高まりは、社会主義勢力の活動に大きな影響を与えた。政府による思想や言論の取り締まりが厳しくなり、㉔自由主義的な学問に対する弾圧事件も起こった。

また、ウ をきっかけに日中戦争が始まると、政府は経済統制を強化し、あらゆる面で軍需を優先したために、人々の暮らしに大きな影響が及ぶようになった。1938年には エ が制定され、政府には議会の承認なしに、物資や労働力を動員する権限が与えられた。やがて、生活必需品の配給制が始まったほか、砂糖やマッチなどの消費を制限する切符制も導入された。また、太平洋戦争の戦況が悪化していくなかで、㉕学校教育も変容していった。

文化の面では、㉖こうした時代においても創作の意志を持ち続けた作家はいたが、政府による厳しい取り締まりによって、社会主義と結びついたプロレタリア文学が衰退するなど、文学や思想の世界でも国家主義的な考えを基調としたものが主流となっていった。

問6 空欄 ウ エ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① ウ 柳条湖事件      エ 国家総動員法
- ② ウ 柳条湖事件      エ 国民徴用令
- ③ ウ 盧溝橋事件      エ 国家総動員法
- ④ ウ 盧溝橋事件      エ 国民徴用令

日本史 B

問7 下線部㉔に関連して、昭和戦前期に自由主義的な学者が弾圧を受けた事件に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する人物名a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 34

X 京都帝国大学の教授であったが、『刑法読本』などで自由主義的な刑法学説を唱えたことから、休職処分となった。

Y 東京帝国大学の教授であったが、政府の植民地政策を批判したために軍部や右翼から圧力をかけられ、自ら退職した。

a 滝川幸辰      b 大内兵衛      c 矢内原忠雄      d 北一輝

① X — a      Y — c                      ② X — a      Y — d

③ X — b      Y — c                      ④ X — b      Y — d

問 8 下線部①に関連して、次の史料 1・2 はいずれも 1940 年代に書かれた日記などの一部である。史料 1・2 に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 35

## 史料 1

いよいよ自分も出陣。徴兵猶予の恩典がなくなり、まさに学徒出陣の時は来た。(中略) 彼らは大東亜の建設、日本の隆昌を願って、それを信じて死んでいくのだ。自分もそうだ。(中略) もしそれが成らなかったらどうなるのだ。死んでも死に切れないではないか。(中略) 率直に言うならば、政府よ、日本の現在行っている戦いは勝算あってやっているのであろうか。

(『きけわだつみのこえ』)

## 史料 2

昭和十九年三月十日(金)、今日は陸軍記念日ということで新聞もラジオも陸軍礼讃をやっている。(中略) 日曜を三月五日から全廃した。学校でも日曜を授業し得るよう法令を改正する。余計時間をかけることが、能率をあげることだと考える時代精神の現れだ。

(清沢洌『暗黒日記』)

X 史料 1 は学徒出陣した学生が書いたもので、1941 年に、文系理系関係なくすべての徴兵適齢学生の徴兵猶予制が停止され、徴集された。

Y 史料 2 に「学校」とあるが、この時期には、ナチス政権下のドイツの教育制度を模倣して、小学校は国民学校に改称されていた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史 B

問 9 下線部⑧に関連して、昭和戦前期の文学に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① 『太陽のない街』などの作品を発表していた小林多喜二が、警察署内の拷問によって死亡した。
- ② 戦後にノーベル文学賞を受賞する川端康成が、新感覚派の作家として『雪国』などを発表した。
- ③ 日本軍兵士の実態を写實的に描いた石川達三の『麦と兵隊』が、発禁処分を受けた。
- ④ 谷崎潤一郎が、自然主義作家として創作を行い、歴史小説『夜明け前』を著した。

(下書き用紙)

◆ 写 真 提 供 等 ◆

2024年度一般入学試験前期日程(1月30日)【世界史B】

- 1) 「サン=ピエトロ大聖堂」 写真：アフロ
- 2) 「サンタ=マリア大聖堂」 写真：アフロ

2024年度一般入学試験前期日程(1月30日)【日本史B】

- 1) 「蒙古襲来絵巻(絵詞)」 アフロ